

日本の文化と季節の行事

申し込み締め切り

令和4年

5月13日(金)

趣旨

私達の生活環境は多くの情報、便利な道具、多様な様式に囲まれています。しかしながら日本人として自国の伝統文化に触れる機会や鑑みる時間が少なくなっている様に見えます。そこで本講座では、歴史背景から見る日本古来から受け継がれてきた季節の行事や日本家屋のあり方、それに伴う「しつらい(室礼)」の奥深さ、楽しさを学びます。

日本文化が普遍的に変化しながら世界へと伝える力も築きます。



にいがた市民大学は
持続可能な開発目標 (SDGs) を
支援しています

講座コーディネーター

生活文化研究家 坪井 蓉子

火曜日 午後7時～9時

回	日にち	テーマ	内容	講師
1	6/7	暦と行事	中国から入ってきた陰陽五行説の易学が日本の暦の元になっています。季節の行事と暦を紐解きます。	生活文化研究家 坪井 蓉子
2	6/14	行事菓子とお茶 ※要茶菓代 300円	疫病退散により始まった嘉祥菓子。願いを込めた和菓子の歴史と行事菓子を学びます。湊町の菓子をお茶と共に味わいます。	丸屋本店 若女将 本間 由起子
3	6/21	床の間文化に見る軸	客をもてなす為に装飾を施す床の間。その床の間に施された書を見、画を読む文化を学びます。	新潟大学教育学部 教授 岡村 鉄琴
4	7/5	文化財級の看板	日頃何気なく見ている様々な看板を通し、老舗や地域の歴史の一端に触れてみます。	新潟大学教育学部 教授 岡村 鉄琴
5	7/12	香り文化と香道 ※要香木代 500円	仏教儀礼の香は供香として焼香を行います。香道における歴史を交え日本の香り文化を体験します。	香道講師 宇佐美 滋
6	公開 7/26	日本の絵の事 (会場：新潟市民プラザ)	仏画、水墨画、絵巻物、浮世絵、油彩画—太古から現代まで絵の世界をいろいろな切り口で逍遙します。	美術評論家 大倉 宏
7	8/2	日本の住まいと町並み	縄文時代から現代まで列島で人々が住み暮らしてきた住まいの形をたどります。	美術評論家 大倉 宏
8	8/23	加賀の工芸の世界	加賀藩は文化政策の振興に力を入れ芸術観、美意識を表出し独自の数寄を築きました。伝統工芸と世界に発信する工芸文化を学びます。	陶芸家 中村 卓夫
9	9/6	茶の世界の楽しみ方	総合芸術と言われる茶道。柏崎の地である木村茶道美術館とは、茶道具とは、歴史を交え茶の湯の楽しみを学びます。	木村茶道美術館 館長 石黒 信行
10	9/13	花街の文化	花街は日本の伝統文化を包括的に継承する稀有な空間です。本講座では花街で触れられる有形、無形の伝統文化の魅力を学びます。	旧齋藤家別邸 学芸員 久保 有朋

後期 ゼミナール(希望者)

※令和4年10月～12月予定(曜日・時間未定)

和菓子作り、香席、茶席等体験学習やゼミナール又現地学習を予定しています。



- ◆対象 新潟市に在住・在勤・在学の方
 - ◆定員 85名(応募多数の場合は抽選)
 - ◆受講料 10,000円(29才以下の学生は5,000円)
 - ◆会場 新潟市生涯学習センター(クロスパルにいがた)
 - ◆申込方法 裏面の「受講申込書」でにいがた市民大学事務局までお申し込みください。ホームページ、スマートフォンからもお申し込みできます。
 - ◆申込締切 令和4年5月13日(金)必着
- ※新型コロナウイルスの感染状況により、お申し込み後、ご連絡をさせていただきます場合があります。

にいがた市民大学事務局 (新潟市生涯学習センター)

〒951-8055 新潟市中央区礎町通3ノ町2086番地 クロスパルにいがた
電話:025-224-2088 FAX:025-223-4572ホームページ: [にいがた市民大学](#) で検索スマートフォン:右の二次元バーコードを読み込むと
申込画面につながります。※お申し込みにあたり、記入いただいた個人情報は、にいがた市民大学の
ご連絡のためのみに使用いたします。